陳　情　文　書　表

【平成２６年１２月定例会議】

受理年月日	受理番号	提　出　者	付託委員会
平成２６年 １０月１０日	陳情第６号	徳島市北前川町４丁目１１－２ 徳島健康サポート２Ｆ民医連内 徳島県社会保障推進協議会 会長　　井上　尚	文教厚生 常任委員会

（件名・要旨）

「さらなる年金削減の仕組み『マクロ経済スライド』の廃止を国に求める」件について

【陳情の趣旨】

社会保障審議会年金部会は、「プログラム法」などに基づく公的年金制度の「検討課題」を具体化するため、９月から審議を開始し、年内には議論の整理を終えるとしており、厚生労働省は、来年の通常国会に改悪法案の提出を目指している。

「検討課題」には、国民年金の保険料納付期間の延長、年金支給開始年齢のさらなる引き上げ、年金課税の検討など多岐にわたるが、私たちが差し迫った問題として重視するべきは「マクロ経済スライドの仕組みの見直し」である。

「物価スライド特例分の解消」を名目とする2.5%の年金削減は、既に大半が実施されて、来年４月の0.5%削減を残すのみとなり、「マクロ経済スライド」の発動が迫っている。これは、物価が上がっても年金をほとんど上げず年金を目減りさせる仕組みであるが、それをさらに物価や賃金低下のもとでも、年金額そのものの引き下げができるようにする、連続的な年金削減の計画が検討課題とされている。

「平成２６年財政検証」の結果は、基礎年金部分について約３０年間、年金を下げ続けるものとなっている。このような年金制度では、高齢者の生活はますます困窮し、国民の生存権が保障されないことは明らかである。

このような事態を踏まえて、地方自治法第９９条の規定に基づき、次の陳情をお願い申し上げるものである。

【陳情事項】

「さらなる年金削減の仕組み『マクロ経済スライド』の廃止を求める意見書」を採択すること。